



あいさつから始まるコミュニケーション

新年度を迎え、出会いの多い季節となりました。「コミュニケーションの始まりはあいさつから」と言われるように、人と会って初めてかわす言葉は「あいさつ」ですね。電話やメールなどで、事前に連絡を取ってから相手と会うことも多くなりました。たとえメールであっても対面であっても、その場にふさわしいあいさつをすることは、その後の人間関係を豊かにすることにつながっていきます。今回はあいさつについてお伝えいたします。

あいさつの語源

禅語の「^{いちあい}一挨拶」が語源。師匠が弟子の悟りの深さをはかる際、言葉を投げかけ、それに対し返ってきた言葉で、弟子の力量を読み取ったことが由来。互いの心と心を深く通わせることから、挨拶という漢字には、「押す」「迫る」という意味が含まれます。語源を知ることによって普段のあいさつを見直してみませんか？
更に良好なコミュニケーションがとれそうですね。



あいさつに添えるお辞儀と握手

欧米社会では、一般にあいさつとともに握手や抱擁（ハグ）を交わすことで親愛を表します。

これは、武器を持たない右手を相手に預け、敵意がない事を示していると言われています。



日本では、あいさつにお辞儀を添えることが一般的ですね。体の中で、最も大切な部分である頭を下げることによって、相手に敵意がない事を示している
そうです。



また、立場や状況によって頭を下げる角度が変わることも、日本ならではの振る舞いです。

国際化が進み多くの外国人を迎えている日本ですが、お辞儀の日本文化は大切にしていきたいですね。

『ユニバーサルマナー』 ～心のバリアフリー～

ユニバーサルマナーマークには、さりげない配慮を心がけ、いつでも歩み寄っていただける姿勢であってほしいという、思いが込められています。バリアフリーの設備がある・なしに、ついこだわってしまいがちですが、ハードはすぐに変えられなくても、みなさんのハートは変えられます。

バリアフリー設備が整っているから問題ない！ではなく、いかに声かけと気遣いができるかというソフト面が、実はとても大切なのです。まずは、見過ごさず

「何かお手伝いできることはありますか？」の声かけから…。

心のバリアフリーを実践してみてください。

何かお手伝いできることはありますか？



ユニバーサルマナー
マーク



SNS始めました！



<https://www.nakakita-manner.com/>

マナーインストラクター部HP開設しました。ぜひご覧ください。

次回は7月発行予定です お楽しみに♪